

カルメル

霊性センターニュース



2014年10月

302号

目次

| | |
|--------------|----|
| 巻頭言 | 1 |
| 心の泉 | 3 |
| カルメル会の企画案内 | 19 |
| 諸所の企画案内 | 37 |
| 年間購読(郵送)のご案内 | 46 |
| 編集後記 | 47 |

イエスの聖テレジア 生誕 500 周年の開幕

跣足カルメル修道会の創立者とも言うべきイエスの聖テレジアは、1515年3月28日、スペインのアビラに生まれました。1536年、アビラのカルメル会に入り、修道生活を始めますが、深い祈りの中で会の改革を主のみ旨として受け取って行きます。

1562年に最初の改革派修道院を創立。その後、1582年10月4日、アルバ・デ・トルメスで帰天するまで、16もの修道院を創立します。また十字架の聖ヨハネ（1542～1591）を通し、男子の改革にも着手します。これら男女の改革派は、聖女の死後には、跣足カルメル修道会として、従来のカルメル会（履足カルメル会）から分離独立することとなります。

1622年、グレゴリオ15世により列聖され、1970年、パウロ6世により女性で初めて教会博士とされます。

全世界の跣足カルメル修道会は、今年の10月15日より来年の10月15日までの一年を、生誕500周年記念の年としてお祝いすることにいたしました。聖女の豊かな霊性を現代に生かしていくことができますように。

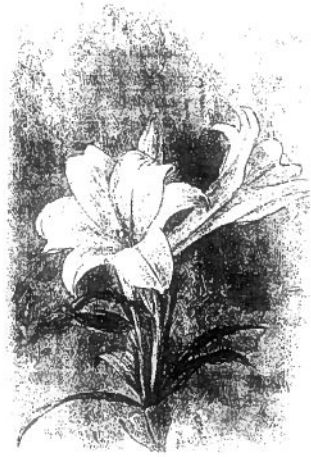
カルメル修道会

STJ
500

1515 2015
V CENTENARIO
DEL NACIMIENTO
DE SANTA TERESA
DE JESUS



心の泉





第二巻

第七章 すべてを超えてイエスを愛する

3 すべてにおいてイエスを探す

人の外面だけに目をとめるなら、あなたはすぐ期待を裏切られるであろう。自分の慰めと利益のために人に頼ろうとするなら、自分が損害を受けただけだったということがわかるであろう。しかしすべてにおいてイエスを求めるなら、必ずそのイエスを見いだすであろう。ところが、自分自身を求めるなら、自分で自分に損害を負わせただけだったことに気づくのである。イエスを求めないかぎり、人は、この世と、この世のすべての敵がもたらす以上の損害を、自分自身が被るであろう。

第八章 イエスとの親しい友情

1 師は近くにいる

イエスが私たちと共におられるなら、すべては好調に進み、どんなことも困難には見えない。しかしイエスに見捨てられるなら、すべては苦痛になる。もしイエスが心に語りかけてくださるなら、私たちの受ける慰めは大きい。マグダラのマリアは、マルタから「先生がおいでになって、あなたを呼んでいらっしゃる」(ヨハネ 11・28)と言われた時、泣いていたのにすぐ立ち上がったではないか？ イエスが私たちを、涙のなかから心の喜びに呼びよせる時は幸いである。

ああ、イエスのいない時、あなたはなんとうるおいがなく、なんと冷ややかなことか！ イエス以外の何かを望むとき、あなたはなんとおろかで、空虚なことか。それは、この世のすべてを失うよりも大きな損失ではないであろうか？

聖テレジア生誕 500 年記念を祝って

日々神と親しく生きるには

— 10 月 —

10 月 15 日は聖テレサの祝日です。この日から来年 10 月 15 日まで聖テレジア生誕 500 年祭として世界的にお祝いします。すでに日本では「カルメル誌」、カルメル会四旬節講話などで準備してきました。今年は全世界で様々な催し物がとりおこなわれます。「千の命をも惜しまない」ほどに人々の救いを望み「疲れを忘れて働く使徒」であり、神秘家テレサ。

わたしの祈りで、たった一人の人でも救えるのでしたら、最後の審判の日まで煉獄にとどまるくらい、なんでしょう。」 ~テレサ~



アヴィラのご託身修道院
創立に向かうマドレ・テレサの像



最初の改革修道院サン・ホセ
聖ヨゼフとイエス像

私たちがこの一年聖テレサのキリストへの愛にならしましょう。

そして人の心のあらゆる「不安とあこがれ」の一つひとつに答えてくださるキリストとの友情を深め続けて、神との愛の一致を目指し、しっかり歩み続けていくことができますように。

伊従 信子

ノートルダム・ド・ヴィ

人を赦す (12)

くのり
九里 彰

前回、私たちが神から赦されるには、まず私たちが兄弟姉妹の罪を赦すことが、神から求められているということを指摘した。「主の祈り」の新訳は、その点を明確にしたと言えるであろうし、次のペトロとキリストのやり取りも、そのような意味合いで理解されるべきであろう。

そのとき、ペトロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか」。イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい」。(マタイ 18・21-22)

日本では「仏の顔も三度まで」と言うが、キリストの場合は、七の七十倍。それは、490回までは赦し、491回目から赦さなくてもよいということではないだろう。要は、「無限に兄弟を赦せ」という教えである。神は無限のお方であるならば、その憐れみも無限のはずであろう。

ところが、私たちは、神の憐れみにより、無条件に赦された（そして今もなお赦されている）にもかかわらず、兄弟姉妹に対してはなかなか赦さないのである。このことを、キリストは、「仲間を赦さない家来」のたとえで、次のように描写している。

ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。決済し始めたところ、一万タラントン借金をしている家来た、王の前に連れてこられた。しかし、返済できなかったので、主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。家来はひれ伏し、「どうか待ってください。きっと全部お返しします」としきりに願った。その家来の主君は憐れに思って、彼を赦し、その借金を帳消しにしてやった。ところが、この家来は外に出て、自分に百デナリオンの借金をしている仲間に出会うと、捕まえて首を絞め、「借金を返せ」と言った。仲間はひれ伏して、「どうか待ってくれ。返すから」としきりに頼んだ。しかし、承知せず、その仲間を引っ張って行き、借金を返すまでと牢に入れた。(マタ 18・23-30)

十字架の聖ヨハネ こぼれ話 (84)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

飲んでもよいですか？

修道士か修道女のだれかが、ヨハネ修士に飲む許可を求めた時、彼は確固たる口調でこう答えました。「神の祝福がありますように。飲むときは、キリストの傷口に口をつけるように、またその渴きをいやすように、愛情をこめて飲むように」。十字架のマリア（マチュカ）は、次のように述べています。彼女が「神父様、飲むお許しをくださいますように」と言った時、彼はこう答えたということです。「神を飲みたいという思いで飲みなさい」。

気をつけろ*！

グラナダで、カーニバルの主日に、サルヴァティエラのホアン・メレンデス大司教は、十字架のヨハネに自分のところに来るよう命じました。ヨハネ修士は駆けつけ、大司教との面会が終わるやいなや、ロス・サントス・マルティレス修道院に、伴の者と共にもどろうとしました。通りでは、カーニバルの悪ふざけがたくさん行われていました。地面をじっと見つめながらヨハネ修士がそこを通り過ぎようとする時、「ひとりの女が、大きな壺に一杯入った水を彼の顔に浴びせました」。人生において多くの艱難を耐えてきたヨハネ修士は、まったく顔色を変えず、「ただ伴の者に目配せをし、やさしく彼に言葉を発しないよう促しました。それから、まるで何かのお恵みをいただいたかのように、穏やかな喜びをたたえながら、修道院への道を歩み続けたのです」。

* 訳注：“¡Agua va!” というスペイン語は、「水が行くぞ」といった意味で、建物の窓から汚水などを投げ捨てる時の言葉。



年間第27主日 (A)

みことばのひびき

(マタイ21:33-43)

本日のたとえ話のぶどう園は神の王国です。マタイは詩編118:22~23を引用して、このたとえ話がユダヤ民族に当てはめられていて、神はぶどう園の新しい所有権を支持し、受け入れられないイエスを擁護することを示します。このため神の王国はユダヤ人のキリスト教徒共同体と、その共同体が実りをもたらすことを確信している信心深い異教徒に与えられます。ユダヤ人たちは、隅の親石、安定と力の源、新しい王国を築く様々な民族間の一致となるイエスを拒絶しました。マタイはイエスの受難、死去、復活が全て神のより大きなご計画の一つであることを知って欲しいのです。それぞれの人に与えられている神の救済の業の中にある言葉や責任全体に対して、忠実で従順である必要があると言いたいのです。

神の王国は王国に実りをもたらす民族に与えられるであろう、という言葉で福音は締めくくられています。王国の実りは聖霊の実りです。それは、「愛、平和、忍耐、親切、寛大、忠実、そして自制心です。このようなものに反する律法はありません」。キリスト者の生活のこれらの実りは、単なる行動の教義や掟以上のものです、キリスト教は、世界及び特に教会の中にあるダイナミックな神の現存に対して自分自身を開く人が経験できる現実だからです。事実、神の現存の真の経験を通してのみ、キリスト者の生活に期待通りの実りを生み出し、神を全ての主として認識し、私たちの生活の根本的な目的として他者を愛するというを実行可能にするのです。人間生活の普通で自然な出来事を通して自分の中にある神的な生活の実りを表わすために、キリスト者の神的な生活は、自然な生活のダイナミックさの中に置かれていると言えます。自分の考えと行動の中で、精神と心の実質的な融合を通して、自分の中にある神の現存を経験する必要があります。私たちの協力を通して、キリスト者の生活の実りを生み出すのがこのご現存です。

私たちは神の民です。私たちはぶどう園のテナントです。キリストは今、私たちが持続する実りを生み出すように期待されています。本日、私たちが自分にたずねることははっきりしています：自分はどのようにしているのでしょうか？私たちは祭司長や長老、律法学者、ファリサイ派の人たちよりも優れているのでしょうか？私たちは、洗礼によって主のぶどう園で働くように呼ばれている特権があります。度々私たちは福音のメッセージを聞くために集まるように、そして自分たちの生活の一部にするように招かれています。私たちは皆、キリストの肢体、キリストの共同体、教会の活動的なメンバーであるように呼ばれています。何世紀にもわたり、キリストの共同体の中で幾人も預言者たちが拒絶され、罵られ、殺されました。現代ではジャンヌ・ダルク、トマス・モア、オスカー・ロメロ司教、マルチン・ルーター・キングがそうです。これら殉教者たちは皆一つの共通点を持っています。彼らは異教徒にではなく、主のぶどう園のテナントである仲間のキリスト教徒に殺されたのです。今週私たちは皆、自分が神の王国を相続しているかどうかを自分にたずね、神のみ前で自分の身分を顧みるために少し時間をとりましょう。 (Sr. Paulina)

「王が客を見ようと入ってくると婚礼の礼服を着ていない者が一人いた」(マタイ 22, 11)。

この王子のために婚宴を催す王のたとえ話は、「イエスが神殿の境内に入って教えておられると、祭司長や民の長老たちが近寄ってきて言った」(マタイ 21, 23)によって導入される個所に置かれています。そして、直前に置かれている二つのたとえ話、「はつきり言うておく。徴税人や娼婦たちの方が、あなたたちより先に神の国に入るだろう」との言葉が終わり近くに来る「二人の息子」のたとえ話し、「神の国はあなたたちから取り上げられ、それにふさわしい実を結ぶ民族に与えられる」(マタイ 21, 43)との言葉で結ばれる「ぶどう園と農夫」のたとえ話なし、この二つの後に配置されています。この二つのたとえ話で強調されるところは、イエスの到来によって神と人間との出会いの理解は、それまでとは異なった次元に置かれる、人間のはからいを超えた神の恵みへの悔い改めなのですが。それで、この「婚宴」のたとえも、「祭司長や民の長老たち」、つまり、神の選ばれた民の構成員たち、その中でも指導的使命を与えられている者たちに向けられ、かれらの審判を視野に入れていと言わなければならないでしょう。この理解が、この個所を正確に把握する視座を与えてくれます。つまり、ここで、イエスが相手にしているのは、神の民、神から選ばれ、恵みを与えられた神の長子であるイスラエルではなく、この民の神との出会いのあり方を指導すべき立場にある者たち、つまり、祭司や律法学者、民の長老たちであることです。彼らから神の国の秘義の理解し、解釈し、人々に語る指導者の資格は取り上げられ、他の人たちに与えられる、となります。

実にイエスが教えられた神と人々との関わりの特異性。このイエスの見ておられる神との関係に参与させていただく、これには、人間の底知れない罪深さの自覚を踏まえた現実、悔い改めの現実を深めさせていただかなければなりません。この悔い改めの秘密は、イエスだけが教えることのできる秘密、そしてわたしたちの誰もが実践できる秘訣なのではありませんか。しかし、実は、この秘密へ到達する道は、旧約の歴史の中でもモーセを始め、多くの預言者を通して教えられてきてはいたのです。そして、洗礼者ヨハネを通して、最後には、人間となった神の御言葉、イエスの生き方と言葉を通して明確にされているのです。ユダヤ人も、そうではない人たちも、同じように、神の前に悔い改める、これが礼服なのです。ルカ渡辺幹夫

年間二十九主日 (A)

“では、皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。”(マタイ 22 : 15-21)

今日の福音のこのことばは、イエスキリストのかの有名な断言です。これはファリザイ派の人々の、イエスを畏にかけようとする悪い意図を見抜いての計算された断言です。これを聞いたとき、ファリザイ派の人々はとても驚きました。予想していなかった返答だったからです。もしイエスの答えが明らかに皇帝、シーザーに反対するものだったら、彼らはイエスを非難することが出来たでしょう。またもしその反対に、シーザーに税金を支払うことに賛成するものであれば、彼らの策略がうまくいったと喜んだことでしょう。しかし、イエスはシーザーに逆らうことなく最高の意味ある答えをなさいました：神のものは神に返しなさい、神はこの世の力ある者の主なのです。

他の支配者と同様、シーザーは勝手な権力行使をすることはできませんでした。彼の権力は正当な理由の許に限られていました。；タラントの喩えの召使のように、彼らは使うべく託されお金も主人の口座に入れなければならなかったのです。ヨハネの福音（ヨハネ 19 : 11）で、総督ピラトの判決を受けられるイエスは、ピラトに仰せになります：“神から与えられていなければ、わたしに対して何の権限もないはずだ”と。イエスは政治的な扇動者として登場することは望まれず、唯、物事の秩序を正されたのです。

マタイ福音書の今日の個所はたまたまに、教会は政治と一線を描さなければならぬと言う意味に解釈されていますが、先ず教会の真の使命であるこの世の救いと信仰を大切に心に刻みましょう。この解釈は全く間違っています、神は、わたしたち人間の一人ひとりをご自分の愛の相手として深く心に留め、全てがよくなるように計らってくださる方です。この神の熱い思いを伝える、神の代理者である聖職者は、また招かれた神の民であるわたしたちキリスト者は、神のご現存のもと、神の思いを祈りのうちに実行して行く責任があります。教会の典礼奉仕を大切に、秘跡の大きな恵みをもって社会の人々全員の益となるよう働くことの意味は大きいのです。（個人的な考えで神を受け入れるだけで、公の知識としての神を否定するなら、それは偽善である：ベネディクト XVI）

わたしたちは皆ある意味で二つの国に属しています：限りある時間の支配するこの世の国と永遠に続く神の国です。イエスが言われるように、わたしたちはこの両方を大切に、忠実に生きるよう努力します。いつも、“今、わたしに向けられている神の望み”を敏感に捕え、それを神の助け（祈り）と努力によって、少しずつでも実行して行くことができれば、わたしたちに託されている二つの責任、**国家と神のみ国**に対する、を果していると言えるのでしょうか。もしわたしたちが常に良心に従って、肯定的に創造的に行動するなら、それは、愛のうちに神の国を建設して行くことになるのでしょうか。

(Sr. Paulina)

「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。・ ・ ・隣人を自分のように愛しなさい」(マタイ 22, 37, 39)。

「愛しなさい」。この命令は、わたしたちを、一つのみことのディレンマの前に立たせます。「愛」との用語は、今日では、大変頻繁に使用され、むしろ、濫用されていると言った方が事実に近い状況と言えるほどになっています。それで、この単語には、使用する人、状況に応じて、まったく異なる意味合いが恣意的に付着されています。他方で、「愛しなさい」は、キリスト教信仰の中核を表現し、イスラエルの信仰の核を受容し、同時に、キリストにおいて始めて開かれた新しい深みを示唆する用語でもあります。そして、もう一つのディレンマがあります。「愛しなさい」、愛するとは命令されるべきものなのでしょうか。むしろ、命令され、その命令に従うことから発生するのであるなら、それは、「愛」と言う最も人間の深層を表現するもの、その自由から自発的に生まれるはずのものを、他者の意志、上からの「命令」への従順と言う、他律的なものに変質させるのではないのか、と言ったディレンマです。

「愛しなさい」。一般の言語使用法と信仰の言語使用法の分岐は、信仰者が、愛についての一般的な、曖昧な主張で満足しないで、キリストの言葉と生き方から、愛するとは何か、を学ぶことを要請します。根本的なことは、信仰者がこの用語を豊かな聖書的意味合いで採用し、イエスを頂点とする救いの歴史の中での神の行動や言葉のうちに、神の御心を発見することです。キリスト教的愛は、神の愛のうちに、自分の起源、強さ、参照点を持ち、これは、すべての感傷的な詭弁からは遠く、漠然とした励ましを容易には受け入れないものです。実際、その核には、キリストの十字架の死と言うすべてを凌駕する出来事を持ち、永久の価値のある、全面的献身のいけにえ、救いをもたらす愛を語る十字架、創造的、自由にする愛、赦しのいけにえがあります。この愛が、人間の生活と愛を支え、照らしているのです。愛の充満に向けての第一歩は、わたしたちの現実は、このような愛から程遠いものであると自覚することにあり、このようなわたしたちのために真実な愛の生き方を開くために、イエスは十字架の上で御自分のすべてを無償でささげてください、と認め、このイエスの前に、自分の真実な姿を告白し、赦され、イエスの愛に模倣する歩みに一歩を踏み出す、このとき、ディレンは解消されてゆくのです。ルカ渡辺幹夫

新聞紙上に面白いものを見ました。

通称「朝ドラ」というのだそうですが、NHKの連続テレビ小説の特集記事です。ほぼ一面全部を使う大々的なもので、大変に興味をひかれ詳しく目を通しました。

最近の作品「あまちゃん」というドラマの人气が、ちょっとした社会現象と化して、放送が終了したときには「あまロス症候群」なるものに陥る人もいたとききびっくりしています。私たちの年代だと、戦後のラジオ放送劇「君の名は」がヒットして、放送時間帯には銭湯の女湯が空っぽになるといわれたことを思い出すべきでしょうか。

NHKの連続テレビ小説は1961年から始まって、現在の「花子とアン」が90作目となるそうです。すごい年月です。すごい本数です。すごい業績です。

因みに私は66年の「おはなはん」あたりからちらりほらりと見始めて、実をいうと71年の「繭子ひとり」からは何ということずっと欠かさずに見続けて今に至っているのです。（ただ、内容などは全作品ほとんど全部忘れていますが・・・）

朝のドラマは異なることでご縁ができて、そのご縁は結果としてとても深いと思っています。現在の私ども老夫婦のたどたどしい生活とは違って、もっと若い時代の何かと忙しく騒々しい生活状況にあつては、ドラマ放映の朝8時台という時間帯は、サラリーマンの家庭では家人が出払って家の中にひとりとなりほっと息をつく時でした。自分のために新しくお茶をいれてゆったりと気持ちをおろちあかせ、連続ドラマを15分間見て・・・私はその後の約1時間を祈りの時ときめていたのです。

それを知っているごく親しい友人などは、その時間は電話したり呼び出したりしないからねと言ってくれたりして、実に神と私だけの親密な濃密な時間となっていました。きまった時刻にきまった場所できまった姿勢を基本として神だけのために坐ったのです。長い年月、日課でした。（ただ、今現在はなぜか型総崩れの茫々の態ですが・・・）

云ってみれば私は祈りの直前、必ず朝のドラマを見ていたのです。毎朝15分だけお目にかかる親しい人たちがいて、その人たちの生活、人生を目の当たりにして彼らの行く末を案じ、翌日を待って一喜一憂していたわけです。

ドラマの登場人物は、私たちと同じように一日一日を懸命に生き人生を紡いでいます。自分の近辺という小さな世界ではあるのですが、家族、夫婦、親子、

兄弟、友達、師弟、近隣と、ありとあらゆる人間関係があり、誕生、死別、友情、恋愛、孤独とさまざまな出来事があります。どのドラマの人物もみな自身の限りを切々と生きています。それは私にとって無関係なものは何一つなく、いかなる状況もすべて身の内のことと思われず。

毎朝出会うこれらの人たちの生きるさまは、もしかしたら祈り即ち神との親しさへと私を導く或る役目をしていたのだと思っているのです。

すべてを沈め、すべてを潜め、神とともに神の内を神に逢いに行く世界へと引き寄せられて行くことに、何らかの導きの要素をもっていたのではないのかと。

そうしたわけで朝のドラマはご縁の深い心の友のように思っているのかもしれない。

何年も何年も毎日毎日朝のドラマを見ていて、ことさら愛について考えたりはしないとしても、時には不意に何かを問われたり、何かを示されたりはあるのです。登場する彼らが自分の利害にはよらず、犠牲を払って、自分の安楽を捨てて他の人のためにつくすのを知るとき、たとえようのない悲しみと親しみを覚え、その人の傍らに座っていたい気持ちになります。こういう時私の魂は「愛のあるところに神はおられる」とか「生まれた愛は誰のものでもない」などと知っていることばをつぶやいています。

困難をきわめることではあるのですが人とともに生きるとは、日常で出会う人云ってみれば自分以外のすべての人を受け入れることなのだという事は、ドラマであってもノンフィクションのこの現実であっても変わりはないでしょう。我欲の充足は確かに生きる力ともなり得るのですが、そうではなく十字架のキリストこそをほんとうの寄辺として、真の生きるよろこびをめざしたいと願うのです。

神さまを捕えたり、見極めたり、触ったりはできないのですが、この日常のどんなに小さなことひとつひとつにも必ず目を留めてくださっていることは、毎朝のドラマを見ていても知ることです。

神さまの愛を信じて私の心も合わせたいと願うのです。

連続テレビ小説、通称「朝ドラ」を今日も見ました。明日もまた見るでしょう。

いのちの言葉 10月

わたしが命のパンである。
わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、
わたしを信じる者は決して渴くことがない。

(ヨハネ 6・35)

ヨハネ福音書の中には、イエスがパンを増やされた後、カファルナウムで話された時のことが記されており、次の言葉が出てきます。「朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。これこそ、人の子があなたがたに与える食べ物である」(*1)と。

イエスの言葉を聞いた人々は、この食べ物とは「マナ」のことだ、と考えたでしょう。メシアが来られる時に天から降ると言われていた「第二のマナ」を、人々は待っていたからです。

群衆がご自分の言葉を理解しないのをご覧になって、イエスは、ご自分こそ天からのまことのパンであると告げられ、これを信仰によって信じるよう人々を招かれます。

わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

ここでイエスはすでに、ご自分を「パン」として示しておられます。人に食されるパンとなること、これが、イエスが地上に来てくださったことの最終目的でした。それによって、私たちがイエスの命にあずかり、もう一人のイエスへと変えられていくためです。今月のみ言葉の霊的な意味は、旧約聖書との関わりもあってはっきりしていますが、それに続く言葉は、神秘的で受け入れるのが難しい内容になっています。イエスはご自分について、次のように言われます。「わたしが与えるパンとは、世を生かすためのわたしの肉のことである」(*2)、「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない」(*3)と。

イエスは「ご聖体」について語られたわけですが、多くの弟子たちがこれにつまずき、去っていきました。しかし、ご聖体こそ、イエスが人類に与えたいと望まれた最も偉大な贈りものです。ご聖体の秘跡の中に現存されるイエスご自身が、私たちの魂と身体を満たし、私たちはイエスと深く結ばれ、満ち満ちた喜びをいただきます。

ご聖体で養われる時、私たちはもはや他のものに飢え渴くことがないでしょう。私たちの愛や真理に対する願いは、愛そのもの、真理そのものである御方によって、満たされるのです。

わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

この命のパンによって、私たちは地上にあるうちからイエスに養われますが、

それは、このパンをいただいた私たちが、周りの人々の精神的、物質的な飢えを満たすことができるためです。

世の人々が、ご聖体を通してキリストを知ることはあまりないかもしれませんが、ご聖体とみ言葉に養われたキリスト者に出会うなら、キリストに出会うことができます。キリスト者は、生活と言葉によって、周りの人に福音を伝え、人々の間にキリストの存在をもたらすことができるのです。

またキリスト者の共同体は、ご聖体の恵みによって、イエスの生き方にならうものとなっていき、他の人々にも神の愛と命を分かち合うことができるでしょう。

わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

ご自分をパンとしてお示しになりながら、イエスは最も真実で、最も「キリスト教的」な隣人の愛し方を、私たちに教えてくださいました。

実際、愛するとはどういうことでしょうか。

愛するとは、すべての人と「一つになる」ことで、相手が望むすべてにおいて、私たちが、その人と一つになることです。たとえ、自分にとっては小さく意味がないこと、あまり大切とは思えないことでも、相手が関心を持っているならば、私たちもそれに心を合わせましょう。

イエスは私たちのためにパンとなられ、素晴らしい形で「愛の模範」を示してくださいました。すなわち、すべての人の中に入り、人がご自分を食することができるため、またすべての人と一つになり、すべての人に仕え、愛するために、イエスはパンとなられたのです。

私たちも、イエスがパンとなられたように、相手が私たちを「食する」ことができるほどに、相手と一つになりましょう。

これが、愛です。私たちの愛によって、相手が「自分は養われた、慰められた、心が軽くなった、理解された」と感じるまで私たちがその人と一つになることです。

キアラ・ルービック

* 今月の言葉は2000年8月に発表されたものです。

* 1 ヨハネ 6・27 * 2 ヨハネ 6・51 * 3 ヨハネ 6・53

いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

●お知らせ

いのちの言葉の集い

関東 10月12日(日) 13:30~ 神奈川 加リッパ藤沢教会 204号室
(週日に、吉祥寺、調布、鷺沼、戸塚、厚木、千葉、浦和、鹿沼でも)

中部 10月12日(日) 14:00~ 愛知 瀬戸市本郷町東・喫茶室「遊夢」

近畿 10月26日(日) 13:30~ 大阪 加リッパ香里教会

長崎 10月26日(日) 14:00~ 長崎 加リッパ浦上教会 要理教室

* 詳細は各フォルム・センターまで

連絡先

フォコラーレ: 03-3707-4018/03-5370-6424

E-mail: tokyofocfem@ybb.ne.jp

ホームページ: フォコラーレで検索

<http://focolare.world.coocan.jp/>

お詫びと訂正

前回の聖書の出典箇所に誤りがありましたので、訂正して頂けますようお願いいたします。

シラ書 28・2 → ローマの信徒への手紙 15・7

ヘンリ・ナーウエンの 旅路の糧（180）



満ち溢れる恵み

教会は幾世紀にもわたって、判断力のある人が教会を去りたいと思わせるようなことをずっとしてきました。乱暴な十字軍、ユダヤ人大量虐殺、権力争い、抑圧、破門、処刑、人々や考えの操作、絶えず繰り返される分裂の歴史、これらは、だれの目にも明らかであり、人をぞっとさせるものです。

これが、その中心に神のみ言葉や人々をいやす神の愛の秘跡をになっている同じ教会であると、私たちは信じることができるでしょうか。これらすべての傷ついた人間性の真っ只中で、キリストの傷ついた体が永遠の命にいたる食べ物としてこの世に差し出されていると、私たちは信じることができるでしょうか。罪で満ちているところには、恵みは満ち溢れていることを、約束が何度も何度も破られているところには、神の約束はゆるぎないまま留まっていることを、私たちは認めることができるでしょうか。信じることとは、これらの問いに対し「はい」と答えることなのです。

(1020)

人を励ますヴィジョン

すべての人々の間の究極的な平和とか、あらゆる被造物の究極的な調和といった偉大なヴィジョンは、単なるユートピア的なおとぎ話にすぎないのでしょうか。いいえ、そうではありません。それらは、人間の心の最も深い願望に対応するものであり、あらゆる嘘やごまかしを越えて示されるべき真実を指し示しているのです。これらのヴィジョンは、私たちの靈魂を養い、私たちの心を強めてくれるのです。それらは、私たちが絶望に陥る時には希望を、生きることを諦める時には勇気を、疑いがより論理的な態度であると思われる時には信頼をもたらすのです。これらのヴィジョンなしには、私たちの最も深い望みは鈍くなり、私たちの生活は平板で退屈なものとなり、最終的には否定的なものとなることでしょう。これらのヴィジョンこそ、大きな障害や苦しい困難を乗り越えるエネルギーを私たちに与えてくれるのです。ヴィジョンは、私たちが人生を十全に生きることを可能にしてくれるのです。

(1212)

跣足カルメル修道会HP (International)

世界的な跣足カルメル修道会のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。



ORDEN
CARMELITAS DESCALZOS
• CURIA GENERAL DEL CARMELO TERESIANO •

<< Communications (時事通信) >>

跣足カルメル修道会の拡大総長顧問会、韓国で開催される (1)

2014年9月6日

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、

8月26日～9月3日まで、跣足カルメル修道会の全管区から76名のカルメル会士が韓国のコソン市に集まりました。彼らは、在世会に援助された韓国管区の兄弟たちに温かく迎えられました。この会議は、総長の拡大総長顧問会招集の招きに応じて、また修道会の現状を検討しつつ、修道家族において最も厳粛かつ重大な時となる次期総会議の準備を促す総長の報告書に込める形で開催されました。修道家族の生活に関する分析と識別のあとで、次の事柄を皆さんと分かち合いたいと思います。

「二人または三人が、わたしの名によって集まる所には、わたしもその中にいるのである」(マタイ：18章20節)。これは、私たちが、会員の“多様性の一致”の中に、また個人個人の貢献の中に、どのように主の現存を体験してきたかということでもあります。総長の指導のもと、6日間の会議は、成功と困難、また将来への挑戦と希望を浮き彫りにした総長の報告書を聴くことから始められました。

5年間の統治を振り返る評価では、情報分野における活動、会を活性化する奉仕、個人と共同のレベルの責任面で自由を取り入れる必要性、“私たちが行っているすべてのものへの愛”を求める自己崇拝に打ち勝つこと、人生の表面的な側面に留まらないことなどが強調されました。この意味で、現実の人々、すなわち私たちに最も近い兄弟姉妹と共に始めることが絶対的に不可欠であり、これが私たちの旅の識別規準です。

会議中での黙想は、カルメルのカリスマに由来するアイデンティティーが、どのように私たちの生活の中に、また私たちの聖なる母、イエスの聖テレジアによって提案された生活様式の中で実現できるかを理解する助けとなりました。これは、私たちが努力すべき客観的目標であり、修道者として、また共同体として、私たちの存在を築こうとしていく時、私たちを方向づけてくれるゴールです。

カリスマの経験は、規則の単なる外面的な順守を超えるものです。私たちは、私たちの生活の本質的要素、たとえば兄弟愛が、単なる理論的現実にとどまらず、イエスの聖テレジアの生活様式と一致する真の人間関係、偽りのない「兄弟的交わり」あることを確信させます。「すべての姉妹が皆仲の良い姉妹であり、皆が愛し合い、慕いあい、助け合わなければなりません」（完徳の道4：7）。私たちが答えねばならない根本的な問いは、「わたしはどんな人になりたいのか」という人間論的なものです。テレジアは、次のように述べています。「わたしたちは、どのような者でなければならないのでしょうか。」（完徳の道4：1）これは、2011年にイタリアのアリッチャで開催された前回の拡大総長顧問会のテーマでした。

私たちがこのような問いに真実と誠実さをもって答えることは、テレジアの理想を追求する旅に出発しようとする時、聖女が示したアイデンティティーの真の証し人になりたいならば、極めて重要なものとなるでしょう。

そこで私たちは、カリスマの本質的な要素の理解を深めてゆくことを決意しました。このカリスマこそ、私たちにアイデンティティーを与え、私たちを教会と現代世界の中に受肉させていくものだからです。この小道を女子カルメル会の姉妹達との交わりの内に歩むことが、——私たちは彼女たちと共に歩む時のみ、カリスマとしての遺産を十全に生きることができるとすれば——、私たちには必要なのです。私たちは決して自己充足的ではないのです。カルメル会の姉妹の経験を考慮せずに、私たちのカリスマからくるアイデンティティーの明確なヴィジョンに到達することは不可能です。同様に、日常生活においてカリスマを受肉する助けとなっている信徒の貢献も心に留めたいと思います。

次号（2）に続きます。



カルメル会の企画案内



上野毛霊性センター ～ ‘15年3月

黙想企画 ** 上野毛聖テレジア修道院 (黙想) **

1. 木曜黙想会 (毎回木曜日10時～16時) 昼食つき

お申込みは3か月前からお受けします。どなたでも参加できます。

| | | |
|--------|--------------|--------|
| 10月 9日 | 人となられたみことば | 九里 彰神父 |
| 11月13日 | キリストのからだなる教会 | 福田正範神父 |
| 12月 4日 | 無原罪のマリア | 九里 彰神父 |
| 2015年 | | |
| 3月 5日 | 洗礼と主の晩餐 | 福田正範神父 |

2. 金曜黙想会 カルメルの霊性 (毎回金曜日10時～16時) 昼食つき

お申込みは3か月前からお受けします。どなたでも参加できます。

| | | |
|--------|-------------------------------|--------|
| 10月31日 | 永遠の命への憧れ 聖テレジア | 九里 彰神父 |
| 2015年 | | |
| 1月16日 | 聖テレジア・ベネディクタ (エディット・シュタイン) | 福田正範神父 |

3. 奉献生活者の為の黙想会

| | |
|----------------------------|--------|
| 10月10日(金) 18時～10月19日(日) | 福田正範神父 |
| 12月27日(土) 18時～2015年1月5日(月) | 福田正範神父 |

4. 青年黙想会(男女) 福田正範神父、カルメル会士

11月22日(土) 15時～24日(月・振休) 16時

5. 特別黙想会 伊従信子(ノートルダム・ド・ヴィ)

初日の夕食は済ませてご参加下さい。

11月 1日(金) 20時～ 3日(月) 16時「慈しみの愛と祈り」

6. 祭日のミサに参加するために

【クリスマス】 チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

2014年12月24日(水)～25日(木)《講話なし、夕食なし》

7. 聖週間前の黙想会

2015年

3月19日（木）18時～22日（日）16時「十字架の神秘」 福田正範神父



電話でのお問い合わせは午前9時から午後4時45分までをお願いします。
またお申し込みは電話でもお受けしますが、間違いを避け、時間も問いませんので、
なるべくFAX・はがき・Eメールでお願い致します（お返事はいたしません）

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25 聖テレジア修道院（黙想）

TEL 03-5706-7355 / FAX 03-3704-1789

E-mail: mokusou@carmel-monastery.jp

木曜黙想会

「人となられたみことば」

日 時： 2014年10月9日（木） 10時～16時

指 導： 九里 彰 師（カルメル会日本管区長）

場 所： カルメル会上野毛聖テレジア修道院
（黙想の家）

会 費： ￥3500（昼食を含む）



お問合せ・・・TEL 03-5706-7355

FAX 03-3704-1789

Eメール：mokusou@carmel-monastery.jp

お申込み・・・*黙想会の3か月前より申込みを受付します

FAX、メール、ハガキにてお願い致します。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

金曜黙想会

..... 永遠の命への憧れ 聖テレジア

日 時： 2014年10月31日（金） 10時～16時

指 導： 九里 彰 師 （カルメル会日本管区長）

場 所： カルメル会上野毛聖テレジア修道院（黙想の家）

会 費： ￥3500（昼食を含む）



お問合せ・・・TEL.03-5706-7355

FAX. 03-3704-1789

Eメール：mokusou@carmel-monastery.jp

お申込み・・・FAX、メール、ハガキにてお願い致します。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

特別黙想会 《わたしは神をみたい》

神の慈しみの愛 と 祈り

2014年11月1日（土）20時～3日（日）16時

もし人間が神を捜すなら、神は果てしない

さらなる愛をもって捜しておられる

～ 十字架の聖ヨハネ ～

神の慈しみを とこしえにうたおう ！



私たちが捜す神のまなざしに出会い、

私たちが捜し続けられる神を迎え入れるために

しばらく神のみ前に 静かなひとときを過ごしてみませんか？

- 指 導： 伊従 信子 （ノートルダム・ド・ヴィ会員）
 - 持参品： 新約聖書、『いのりの道—幼きイエスのマリー・エウジェンヌ師と共に』
聖母文庫（黙想の家で購入できます。）筆記用具、パジャマ
 - 参加費： ￥12000
 - 場 所： カルメル会上野毛聖テレジア修道院（黙想の家）
158-0091 東京都世田谷区上野毛2-14-25 Tel 03-5706-7355
- 申し込み方法： FAX 03-3704-1764
Eメール：mokusou@carmel-monastery.jp または、ハガキにて

木曜黙想会

「キリストのからだなる教会」

日 時： 2014年11月13日（木） 10時～16時

指 導： 福田 正範 師（カルメル会上野毛修道院司祭）

場 所： カルメル会上野毛聖テレジア修道院
（黙想の家）

会 費： ￥3500（昼食を含む）



お問合せ・・・TEL 03-5706-7355

FAX 03-3704-1789

Eメール：mokusou@carmel-monastery.jp

お申込み・・・*黙想会の3か月前より申込みを受付します

FAX、メール、ハガキにてお願い致します。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

カルメル会聖テレジア修道院（黙想）



カルメル青年黙想会

福音の喜びを生きるには



- 日時 : 11月22日(土) 15時 ~ 24日(月) 16時
場所 : カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)
対象 : 高校生以上の青年男女(35歳まで)
定員 : 20名
費用 : 一般 10,000円 学生 7,000円
締切 : 11月15日(土) <必着>
指導 : 福田正範神父・カルメル会士

※住所・氏名・性別・年齢・電話番号・所属教会名を記入し、ハガキ・FAX・E-mailの何れかで下記まで。折り返し、こちらよりご連絡させていただきます。

158-0093 世田谷区上野毛2-14-25
カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)
電話 : 03(5706)7355
FAX : 03(3704)1789
E-mail : mokusou@carmel-monastery.jp

「カルメル」
今日の靈性・秋号
四旬節講話特集号



カルメル 2014 特集号

2014 秋 No.354

「イエスの聖テレジアの
カリスマとその広がり」

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|--------|--------|
| 神が慈しまれた道 (3) | 今夜あなたと死にたいわ | 西行と芭蕉の靈性 (5) ——『さびしさ』への旅 | 聖テレジアによる祈り (1) ポーリン・フェルナンデス | 風にかかれて (1) ——「人生は美しいことだけを覚えていればいい」 | 二人の聖テレジア (3) ——マドレ・テレサの言葉に生かされて | エディット・シュタインと聖テレサ (3) ——カルメル会での修道生活における受苦と恩寵 | 自分の内に生きることなく生きる (3) ——テレジアの詩とヨハネの詩 | 二人の聖テレジア (3) ——マドレ・テレサの言葉に生かされて | エディット・シュタインとテレジア ——出会いと靈的絆 | ● 目次 ● | ● 目次 ● |
| 奥村一郎 | 森みさ | 田畑邦治 | ポーリン・フェルナンデス | 原 造 | 伊従信子 | 須沢かおり | 九里 彰 | 伊従信子 | 須沢かおり | 渡辺幹夫 | 渡辺幹夫 |
| 60 | 54 | 47 | 42 | 37 | 10 | 21 | 3 | 10 | 55 | 2 | 2 |

購読のご案内

雑誌「カルメル」はどなたでもご購入できます。(カトリック書店：サンパウロ、ドンボスコ書店等) 定価は、一冊460円です。

- 送付ご希望の方は、600円【内訳 460円 (+送料140円)】を下記へお振込み下さい。
- まとめてご購入希望の方は、年会費(年5冊：春夏秋冬号・特集号【460円×5=2,300円】+送料【700円】計3,000円)を下記へお振込み下さい。

郵便振替：00190-4-195457 跣足カルメル修道会
お問い合わせは、事務担当竹田まで。

TEL (03) 5706-8356

2014年～2015年 黙想会案内（宇治カルメル会）

【一般のための黙想】

・1泊2日（午後5時～午後4時）

11月 1日(土)～ 2日(日) 死についての黙想

今泉健神父 **中止**

2015年 1月 10日(土)～ 11日(日) 神の栄光・生きている人間

松田浩一神父

【聖書深読黙想会】

・1日（午前10時～午後4時）

11月 29日(土)

九里彰神父

2015年 2月 7日(土)

九里彰神父

【水曜の黙想】

・1日（午前10時～午後4時）

10月 8日(水) キリストの教え(神と共に歩む)

松田浩一神父

11月 12日(水) 死者の月に祈る **人生の秋**

中川博道神父(変更)

12月 17日(水) テレサと祈り

松田浩一神父

2015年 1月 14日(水) 神の国は近づいた

今泉健神父 **未定**

2月 11日(水) キリストの教え(神と人間の尊厳)

松田浩一神父

3月 25日(水) 神のお告げ

今泉健神父 **未定**

【四旬節の黙想】

・1泊2日（午後5時～午後4時）

2015年 2月 28日(土)～3月 1日(日)

3月 28日(土)～3月29日(日)

【待降節の黙想】

・1泊2日（午後5時～午後4時）

2014年 12月13日(土)～12月14日(日) 神の子の誕生

九里彰神父

【カルメル青年黙想会】

・1泊2日（午後5時～午後4時）

11月 23日(土)～11月24日(日) イエスの聖テレジア教会博士の祈りの手ほど

松田浩一神父(変更)

11月 15日(土)～11月 16日(日) き(変更)

【一般のためのカルメルの霊性入門】

・1泊2日（午後5時～午後4時）

10月14日(火)～10月15日(水) イエスのテレサ生誕500周年開始 松田浩一神父

【奉献生活者の黙想】

2014年（午後5時～午後9時）

12月27日(土)～1月5日(月) 松田浩一神父

[『社会人\(働いている人\)のための霊的同伴』](#) → 別紙参照

祭日のミサに参加するために

【クリスマス】

チェックイン午後4時以降可、チェックアウト午前11:30

12月24日(水)～12月25日(木) {講話なし、各食事つき}



—その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。—

☆お申し込みは、電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールで お名前と連絡先を御記入の上、お申し込み下さい。お電話は、なるべく午前9時～午後5時の間にお願いいたします。受け付けが休みの場合は、その場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様をお願いいたします。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

Tel 0774-32-7016 , Fax 0774-32-7457

E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp



イエスの聖テレサ（テレジア） 1515年3月28日生

生誕 500 年記念の年

《2014年10月15日～2015年10月15日》

主なプログラム《関西地区》

2014年10月15日(水) 午前11:00 開始ミサ <宇治カルメル修道院>

11月1日(土) 午後 2:30 講話(Fr.松田) <京都カテドラル>

テーマ:16世紀スペインから輝く福音の光、聖テレサ

12月13日(土) 午後 2:30 講話(Fr.中川) <京都カテドラル>

テーマ:テレジアの希望による福音

<2014年1月、2月も講話予定>

2015年 3月21日(土) 午後 2:00 マキシミリア/神父(テレジア専門家)

講演会<京都カテドラル>

2015年 8月10日～8月14日 カルメルファミリー国際交流会

スペイン・アウイラで開催!!

尚、8月5日～8月9日まで、テレサの生誕500年記念のためにスペイン司教団・カルメル会共催のヨーロッパ青年大会が同じ場所で開催される。

詳しい情報は下記のところへ!

611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12 カルメル会修道院

担当 松田浩一神父

TEL 0774-32-7456 FAX 0774-32-7457 [✉teresiauji@mountain.ocn.ne.jp](mailto:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp)

カルメル青年黙想会

テーマ： *祈りを教えて!!*

イエスの聖テレジア教会博士の祈りの手ほどき



対 象：青年男女30歳まで

場 所：宇治聖テレジア修道院（黙想）

指 導：松田 浩一神父

費 用：6,000円（一般）、4,000円（学生）

日 時：2014年11月15日（土）受付開始16時

～16日（日）17時

問合せ・連絡先：カルメル会宇治聖テレジア修道院（黙想）

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12

Tel 0774-32-7061

Fax 0774-32-7457

Email: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

『社会人(働いている人)のための霊的同伴』

— 一日常のキリスト教霊性を求めて —

日々、現代社会で忙しく働いている皆様に、この静かな一時を提供する企画です。この一泊の企画は、キリスト者の霊的・心的修養を目的として、**霊的同伴(スピリチュアル・コーチング)**を中心としながら、皆様のお手伝いをします。

【内容】

- この企画は、個人的霊的修養でもありますので、一般的な講話はありません。
- 各人の信仰からの日常生活を見つめる視点(霊的理解)を促進しますので、この静かな一時の中で短い個別同伴(一人30分)を行います。
- メソッドの一つとしてスピリチュアル・コーチングを適用して、参加者一人ひとりの視点を尊重します。
- キリスト者としてのパーソナルな統合はキリストのうちに行為されるものですので、信仰・希望・愛を培い、この三つの対神徳をベースにおいて行います。

【参加者人数】 6人

【開催日】

- | | | |
|---|-------|------------------|
| ① | 2014年 | 1月24日(金)～25日(土) |
| ② | | 2月21日(金)～22日(土) |
| ③ | | 3月28日(金)～29日(土) |
| ④ | | 6月 6日(金)～ 7日(土) |
| ⑤ | | 7月 4日(金)～ 5日(土) |
| ⑥ | | 9月12日(金)～13日(土) |
| ⑦ | | 10月 3日(金)～ 4日(土) |
| ⑧ | | 11月 7日(金)～ 8日(土) |
| ⑨ | | 12月 6日(金)～ 7日(土) |



(毎回金曜日 20時(夕食なし)～土曜日 15時)

【参加費】 各回 6,500円

【霊的同伴】 松田浩一神父(カルメル会士)

【申込み方法】 参加希望者は、前日の木曜日 16:45 迄に、下記の聖テレジア修道院(黙想)へ FAX、はがき、Eメールで申し込んでください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12
カルメル会宇治聖テレジア修道院(黙想)
Tel 0774-32-7016、Fax 0774-32-7457
E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

霊性センター

毎月第一日曜日 三馬教会 聖堂

14:30～講話

15:30～ミサ（ラテン語聖歌）

土曜フレックスタイム静修

毎月第三土曜日 三馬教会 聖堂

13:30～聖書朗読、短い講和

14:30～ベネディクション、聖体顕示

15:30～聖体拝領

16:00～サルヴェレジナ、終了

沈黙の祈りのうちに神様と語り、またご聖体のイエス様と
共に静かに憩いの時を過ごし、心をリフレッシュしましょう

カルメル霊性センター

〒921 - 8162

金沢市三馬3丁目324番地

カルメル会 三馬修道院

三上 和久神父まで

Tel 076 - 276 - 7788



2014年度 名古屋カルメル霊性センター《都会の中の一静修》

2003年から始まりました《都会の中の一静修》は、今年で12年目を迎えることになりました。

カルメル会は、今その聖女、イエスの聖テレサ（アヴィラの聖テレジア）の生誕500年（2015年）を祝おうとしています。そのために、世界のカルメル会は聖女の著作を読み返しながら、その霊性を味わおうとしています。

幸いなことに、日本のカルメル会も、昨年および一昨年の四旬節講話で、聖女の霊性をいろいろな視点で味わい深めて、参りました。それらを振り返りながら、いろいろな切口で、聖女の霊性の中に浮かび上がるカルメルの霊性、さらにはキリスト者としての霊性を味わい深めることができたらと願っております。

《2014年度の年間テーマ》

「聖テレジア（アヴィラ）の私たちへのメッセージ」

—2015年：生誕500年に向かって—

- 第1回静修 1月13日（月・祝） 『テレジアが出会ったイエスを訪ねて』
中川博道神父（宇治修道院）
- 第2回静修 3月1日（土） 『靈魂の城』
今泉健神父（上野毛修道院）
- 第3回静修 5月31日（土） 『小品集』
古川利雅神父（日比野修道院）
- 第4回静修 7月21日（月・祝） 『私は、あなたのために生まれた』：
：人間の召命に生きる 松田浩一神父（宇治修道院）
- 第5回静修 9月23日（火・祝） 『アヴィラの聖テレジアと祈り』
Sr. Paulne（宣教カルメル会修道院）
- 第6回静修 11月3日（月・祝） 『テレジアと出会った十字架の聖ヨハネ』
九里彰神父（本部修道院）

- * 時間 AM10:00～PM4:00
- * 場所 カトリック日比野教会(地下鉄・名城線日比野下車徒歩約5分
聖テレジア幼稚園隣接)
- * 参加費 1,000円
- * 持ってくるもの 聖書、筆記用具、ロザリオ、弁当など
- * 定員 約30名

- * プログラム
 - 10:00～ 祈り・導入・黙想
 - 10:30～ 講話(1)
黙想・赦しの秘跡または面接
 - 11:50～ 昼の祈り・お告げの祈り
 - 12:15～ 昼食
 - 13:00～ 黙想・赦しの秘跡または面接
 - 13:30～ 講話(2)
 - 14:45～ ミサ
 - 15:30～ 茶話会・分かち合い
 - 16:00～ 終了予定

☎申し込みは、下記の住所へハガキかFAXで、氏名・住所・TELなどを記載の上、
(信徒の方は所属教会も記入)開催日の3日前までに、下記へご送付ください。
なお、日比野教会で葬儀などがある場合は、中止となりますので、ご了承下さい。

☆カルメル会日比野修道院

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝4-5-17
FAX 052-671-1825

☆ 問い合わせ先

小林 TEL052-701-3685

聖書深読センターのご案内

- 1 東 京・・・上野毛聖テレジア修道院（黙想）のご案内をご覧ください。
- 2 宇 治・・・宇治聖テレジア修道院（黙想）のご案内をご覧ください。

通信深読について

通信深読は、現在何箇所かで行われているようです。そのうち1箇所が新たに参加可能なので、紹介します。

1 朝日カルチャーセンターの通信講座

参加者は、「個人素読」（記号、全、所感、近況報告などを書くB5用紙）を提出。講師のコメントが記入されて返送される。参加者全員の「個人素読」と「素読表」そして解説が冊子になって送られる。

費用：6ヶ月 20,360円（4、7、10、1月に納入） 継続の場合は 19,130円

講師：九里彰師（奇数月） 今泉健師（偶数月）

問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル

私書箱 21 号 朝日カルチャーセンター通信講座課

電話 03-3344-2527（直通）

- ◎ 聖書深読に関してご質問のある方は、下記聖書深読センター事務局 Srローザ
にお問い合わせ下さい。



聖書深読センター

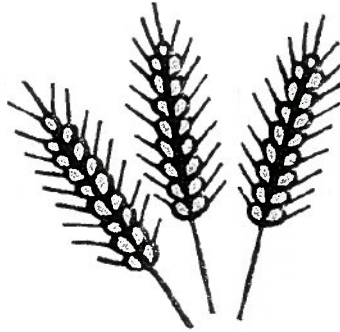
〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12 カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

所長：九里彰神父 事務局長：今泉健神父 連絡先：Srローザ

TEL 0774-32-7016 FAX 0774-38-2543

Eメール carmis@mbox.kyoto-inet.or.jp

諸所の企画案内



心のいほり 内観黙想センター
真命山 霊性交流センター
リーゼンフーバー神父キリスト教講座
ノートルダム・ド・ヴィ
ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院
サダナ瞑想
慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。
記載には注意を期しておりますが、
詳細は各問い合わせにご紹介下さい。
よろしくお願い致します。



諸所の黙想企画ご案内

※各黙想内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。

心のいほり 内観黙想センター

先の予定表と若干変わっていますので、開始の曜日や時間などにご注意ください。

◎参加費用は、6泊7日ですべてを含み、関西地区の会場は6万円、他地区は6万5千円です。

◎Eメール・ファックス・手紙でセンターに問い合わせてください。電話では取り次いでおりません。

申し込みは、会場予約準備がありますので、10日前迄に完了をお願いします。

◎〒572-0001 大阪府寝屋川市成田東町3-27「心のいほり・内観瞑想センター」 藤原神父
FAX 072・802・5026 Eメール fujinao1944@nifty.com
<http://www.com-unity.co.jp/naikan> (ホームページ・アドレス)

◎予約の決まった後に、会場までの詳しい地図などの書類をお送りします。

(★)印の会場では、藤原神父以外の司祭も面接同行する可能性があります。

6泊7日 開始日午後2時より 終了日午後2時まで

2014年予定

N3 10/26 (日) -11/1 (土) 滋賀唐崎・ノートルダム

K5 11/29 (土) -12/05 (金) 東京・小金井・聖霊会

2015年予定

K1 1/17 (土) -1/23 (金) 東京・小金井・聖霊会

M1 2/7 (土) -2/13 (金) 宝塚売布・女子御受難会

N1 2/23 (月) -3/1 (日) 滋賀唐崎・ノートルダム

K2 3/14 (土) -3/20 (金) 東京・小金井・聖霊会

N2 4/30 (木) -5/6 (水) 滋賀唐崎・ノートルダム

K3 6/12 (金) -6/14 (日) 東京・小金井・聖霊会 2泊3日

T1 7/20 (月) -7/26 (日) 兵庫西宮・トラピスチヌ

K4 9/19 (土) -9/25 (金) 東京・小金井・聖霊会

N3 10/27 (火) -11/2 (月) 滋賀唐崎・ノートルダム

T2 11/17 (火) -11/23 (月) 兵庫西宮・トラピスチヌ

K5 12/12 (土) -12/18 (金) 東京・小金井・聖霊会

祈りの集い (午前10時～午後3時)

真命山の霊性

「聖母マリアと共に祈る」



自然 神はすべてを造り人の手にゆだねられた

陽の昇るところから 祈り
陽の沈むところまで



静けさ 沈黙の中に神の言葉を聞こう

信仰体験を 分つ 交わり

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 1月 9日 | 天使からのお告げをお受けになった時の聖母マリアの祈り |
| 2月13日 | エリザベットを訪れられた時の聖母マリアの祈り |
| 3月13日 | 神の子イエスをお産みになった時の聖母マリアの祈り |
| 4月10日 | 羊飼いたちや博士たちの訪問をお受けになった時の聖母マリアの祈り |
| 5月 8日 | 聖ヨセフと共に神殿に登ぼり、イエス様をお捧げになった時の聖母マリアの祈り |
| 6月12日 | 聖ヨセフと共にエジプトへ逃れられた時の聖母マリアの祈り |
| 7月10日 | 聖ヨセフと共に神殿でイエスを見つけた時の聖母マリアの祈り |
| 8月 | 休み |
| 9月11日 | ナザレで聖ヨセフとイエスとご一緒の時の聖母マリアの祈り |
| 10月 9日 | イエスを探しに行かれた時の聖母マリアの祈り |
| 11月13日 | イエスの十字架のもとでの聖母マリアの祈り |
| 12月11日 | イエスの弟子たちと共に祈られた時の聖母マリアの祈り |

指導者

フランコ・ソットコルノラ神父

(真命山院長)

ダニエレ サルティ・サルトリ

神父

Sr.マリア デ・ジョウルジ

申し込み先

865-0133

熊本県玉名郡和水町1391-7

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

TEL 0968-85-3100

Fax 0968-85-3186

E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

www.shinmeizan.org

個人またはグループでの黙想会や研修会も歓迎いたします。
(要予約)

リーゼンフーバー神父講座・集いの案内 2014年

●キリスト教入門講座

金曜日 18時45分～20時30分
聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール。
どなたでも。聖書に基づきキリスト教の基本テーマを取り扱います。

●キリスト教理解講座

毎月第1・第3・第5火曜日 18時45分～20時30分
聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール
キリスト教の基礎知識を持っている方。2年間のコース。信仰理解と信仰生活の深まりを目的とし、キリスト教の中心的テーマを探求します。

●土曜アカデミー 以下の土曜日、

9時30分～12時30分、岐部ホール4階404、
各時代の文書を読んで、思想史一般とキリスト教哲学・神学の相互関係を考察します。キリスト教思想史に関心を持っている方、プログラム等に関してはHP(文末)を見て下さい。

2014年度のテーマ: 超越理解と理性の自己発見
— II 近世・近代・現代
「中世: 哲学・神学・神秘思想」(9世紀～15世紀)
[中世末期]
10/18,10/25,11/08,11/15,11/29,12/06,12/20,
2015年 01/10,01/17,01/24,01/31,02/07

●ミサ

水曜日 17時10分～18時 上智大学内 Kultuur
ハイム1階右小聖堂。どなたでも。但し祝日、8月12
日は休み。8月26日は、Kultuurハイム聖堂

●黙想

・「会社帰りの黙想」毎月第2・第4火曜日 18時45
分～20時 聖イグナチオ教会マリア中聖堂
どなたでも。但し祝日、8月12日は休み。8月26日
は、Kultuurハイム聖堂
・「お昼の黙想」毎月第1・第3火曜日 10時40
分～12時 聖イグナチオ教会マリア中聖堂
どなたでも。但し祝日、8月5日は休み。
・水曜日 18時～18時30分 上智大学内 Kultuur
ハイム1階右、テレジア小聖堂。
どなたでも。但し祝日、4月30日、7月30日、8月全
体、12月24日は休み。

●祈りの集い

・下記の土曜日 13時30分～16時 上智大学内S.J.ハウ
ス、第5会議室。講話、黙想、ミサがあります。
10月18日、11月15日、12月6日、
2015年1月10日、2月7日、3月14日
・ロザリオの祈り(上記同日のミサに続いて)16時10
分～16時50分

●黙想会

[1泊6,600/7,000円程度
[関東]
2014年
10月11日(土)10時～12日(日)14時(東村山)
11月22日(土)10時～23日(日)14時(東村山)、
2015年
02月28日(土)10時～3月1日(日)14時(上石神井)。
[関西]
10月4日(土)13時30分～5日(日)15時(宝塚)。

●坐禅会

・月曜日 17時20分～20時10分
・木曜日 17時30分～20時10分
上智大学内 Kultuurハイム1階左の部屋。3回坐り、間
に講話。
但し祝日、4月17日、4月28日、5月1日、7月31日、8月全
体、9月22日、12月29日は休み。

●坐禅接心

[秋川神冥窟] 1泊2400円(+暖房費)程度。
10月31日(金)20時30分～11月3日(月)10時

●アガペ会

下記の日に説明会(13時30分)と集い・ミサ(14時～18
時)。上智大学内S.J.ハウス、第5会議室。
10月25日(土)、2015年1月25日(日)

●クリスマス会

12月13日(土)16時～20時30分。岐部ホール4階、404。要
申し込み。

●クリスマスのミサ

12月23日(火)14時～上智大学内 Kultuurハイム聖堂
(80人限定)。

※リーゼンフーバー神父様HPアドレス http://www.jesuits.or.jp/~j_riesenhube/

リーゼンフーバー神父キリスト教入門・理解講座

リーゼンフーバー神父キリスト教

入門講座 2014年

日時 毎週金曜日

18時45分～20時30分

- 10/03 祈りの本質とさまざまな祈り方— 神と関わる
- 10/10 洗礼と堅信— イエスに結ばれて生きる
- 10/11-12 ●黙想会(東村山)
- 10/17 教会の成立と意味— イエスを中心に集う
- 10/24 人間としてのイエス— 新しい人間像の基礎づけ
- 10/31 御子としてのイエス— イエスの神との関係
- 11/07 父と子と聖霊— 神の生命に与る
- 11/14 信仰の決断— 支えられて生きる
- 11/21 ミサ祭儀— 神への奉仕と生活の糧
- 11/22-23 ●黙想会(東村山)
- 11/28 自己実現と神の意志— 生き方の規範
- 12/05 人間の弱さ— 罪とは何か
- 12/12 恵みとゆるし— 神の憐れみを受ける
- 12/13 ◆クリスマス・パーティ(16時ミサ、17時30分パーティ、岐部ホール4階404、要申し込み)
- 12/19 愛の心— キリスト教の本質
- 12/23 ◆クリスマス・ミサ(14時、上智大学内クルトゥールハイム2階、80人限定)
- 12/26, 1/2〇休み

2015年

- 01/09 隣人愛— 他人の内にイエスに出会う
- 01/16 希望を持つ勇氣— 未来に向かって歩む
- 01/23 霊の動き— 福音による生き方
- 01/30 秘跡と教会生活— 毎日を支える信仰
- 02/06 神の言葉— 神との日常的な対話と黙想の仕方
- 02/13 結婚と独身— 愛の道
- 02/20 信徒・司祭・修道者— 誰もが召されている

リーゼンフーバー神父キリスト教

理解講座 2014年

日時 第1・3・5火曜日

18時45分～20時30分

- [イエス]
- 10/07 根本たる愛 — 律法の完成と克服
- 10/11-12 ●黙想会(東村山)
- 10/21 受難による救い — イエスの救済的役割
- 11/04 死からの命 — 復活の認識・経験・理解
- 11/18 キリストはだれか — キリスト理解の発展
- 11/22-23 ●黙想会(東村山)
- 12/02 御子の受肉 — 神の子と人の子
- 12/13 ◆クリスマス・パーティ(16時ミサ、17時30分パーティ、岐部ホール4階404、要申し込み)
- [聖霊]
- 12/16 神の内的現存 — 人間における聖霊の働き
- 12/23 ◆クリスマス・ミサ(14時、クルトゥールハイム2階、80人限定)
- 01/06 三位一体の神 — 救いの構造から神内の存在へ
- [教会]
- 01/20 信仰者の共同体 — 教会の本質
- 02/03 救いのしるしと実現 — 秘跡の意味
- 02/17 憐れみと愛の祝い — 罪のゆるしとミサ
- 02/28-3/1 ●黙想会(上石神井)
- 03/03 「聖徒の交わり」 — 世界の只中のキリスト

《場所・お問い合わせ》

聖イグナチオ教会(四ツ谷駅前)

信徒会館3階

アルペホール TEL 03・3263・4584

クラウド・リーゼンフーバー神父

〒102-8571 千代田区紀尾井町7-1

上智大学SJハウス

電話 03-3238-5124(直通) -5111(伝言)

Fax 03-3238-5056

※リーゼンフーバー神父様HPアドレス

http://www.jesuits.or.jp/~j_riesenhube/

いのちの泉へ



すべての人のための祈りの集い

カルメルの霊性に学びつつ、キリスト者としての霊性を
養うための講話と沈黙の祈りで構成された集いです。

2014年 10月18日(土)

テーマ：「アヴィラのテレサの祈り」

午後2時 ～ 午後5時30分位まで

講話 伊従信子

祈り・分かち合い

11月15日(土) 時間変更

テーマ：「マリアの祈り」

午後1時半 ～ 午後3時半位まで

講話・伊従信子

祈り

12月20日(土)

講話 伊従信子

祈り・分かち合い

参加費 200円

お申し込み・問い合わせ

ノートルダム・ド・ヴィ

〒177-0044 練馬区上石神井4-32-35

TEL(03)3594-2247 FAX(03)3594-2254

e-mail notredamedevie.japan@gmail.com

ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院

◎ 所在地： 〒520-0106 滋賀県 大津市 唐崎 1丁目 3-1
Tel： 077-579-7580
Fax： 077-579-3804
E-メール： karainorind92@mbe.nifty.com

◎ 交通： JR 京都駅から湖西線で三つ目「唐崎」下車。
琵琶湖の方へ徒歩 約 13 分

◎ 日程：

A. 8日間の個人指導による黙想

初日は、17時のミサで始まり、最終日は昼食で終わります。

- ① 2014年 4月29日(火)～ 5月7日(水)
- ② 8月14日(木)～ 8月22日(金)
- ③ 10月25日(土)～ 11月2日(日)
- ④ 12月27日(土)～ 2015年1月4日(日)

B. 祈りの体験：週末3日間 (金曜日の夕食～日曜日の昼食)

【神との親しさの中で日常を生きるために】

- ① 2014年 2月7日(金)～ 2月9日(日)
- ② 2月28日(金)～ 3月2日(日)
- ③ 3月21日(金)～ 3月23日(日)
- ④ 6月20日(金)～ 6月22日(日)
- ⑤ 7月18日(金)～ 7月20日(日)
- ⑥ 9月26日(金)～ 9月28日(日)
- ⑦ 11月28日(金)～ 11月30日(日)

C. 講話 黙想 (奉獻生活者のため)

2014年 5月26日(月)～ 6月3日(火) 藤原 直達 師 (大阪教区)

◎ 対象： 信徒、修道者、司祭、洗礼を受けていない方、どなたでも参加できます。

◎ 霊的同伴者： 司祭、ノートルダム教育修道女会会員、その他

◎ 申込み： 1) 名前 2) 住所 3) 電話番号 4) 希望日程(番号) を書いて
郵送、または、Faxで「黙想係」松本佳子 へ申し込んでください。
唐崎修道院への案内地図の必要な方は、その旨を書き添えて下さい。

いずれの場合も、10日前までに申し込んでください。 先着順 11名です。

◎ その他： 司祭同伴の黙想会やグループ研修会のために修道院をご利用なさいたい方はご相談ください。(但し、上記の日程と8月1日～8月9日を除きます。)

サダナ瞑想 ～東洋の瞑想とキリスト者の祈り～

★申込み受付・開始日の8日前で締切ります

詳細、補充情報はホームページをご覧ください。

URL : <http://sadhana.jesuits.or.jp/>



| コース | 日時<指導者> | 指導者 | 開催場所 | 申込み |
|-------------------------------|---|------|--------------------------|-----------------------------------|
| サダナ I | 10/31(金)17:30- 11/3(月)16:00 | Fr植栗 | 三位一体聖体宣教女会 東京修道院(東村山) | 若山美知子※ Tel&Fax 03-5802-3844 |
| 入門 B | 11/9(日) 9:30-17:00 | Fr植栗 | 援助修道会リヒト宣教室 (市ヶ谷) | 若山美知子※ |
| 日帰り フォロー アップ | 11/30(日) 9:30-17:00 | Fr植栗 | ニコラバレ修道院1F (四ツ谷) | 若山美知子※ |
| サダナ I | 2015 1/9(金)17:30- 1/12(月)16:00 | Fr植栗 | 三位一体聖体宣教女会 東京修道院(東村山) | 若山美知子※ |
| 入門C | 1/18(日) 9:30-17:00 | Fr植栗 | ニコラバレ修道院1F (四ツ谷) | 若山美知子※ |
| 自己を知る *1泊2日 ×2= 合計4日 | 1/24(土)9:30- 25(日)17:00 1/31(土)9:30- 2/1(日)17:00 | Fr植栗 | 上石神井黙想の家 | 若山美知子※ |
| 日帰り フォロー アップ | 2/25(日) 9:30-17:00 | Fr植栗 | ニコラバレ修道院1F (四ツ谷) | 若山美知子※ |

※不在の場合は、渡辺由子 Tel&Fax : 042-325-7554

◆サダナ I (入門 A.B.C) 体の営みと想像とを生かして祈りを深め、「神との出会い」と「心の解放」をめざす。

◆サダナ II

Iをいっそう深める。身体・感・想像・自分史が、神との交わりのもと統合される。

祈り：講話と実践

沈黙の内に神を求めて
— 観想の祈りへの道 —

場所：イグナチオ教会岐部ホール404号室 14:00～16:00
12月のみマリア聖堂（ミサ有り）

11月13日（木）『靈魂の城』第六の住居・第六章
12月11日（木）

アピラの聖テレジアの「靈魂の城」を読んだ後、一緒に沈黙で祈ります。
すでに大分読み進んでおりますが、途中からの参加もかまいません。

*参加費無料（献金歓迎）

*問い合わせ先：042-473-6287 篠原

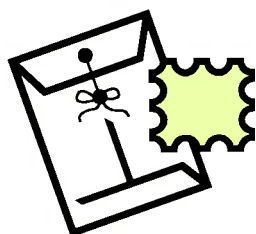


九里彰神父（カルメル会日本管区長）

※各黙想会内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。

霊性センターニュース

* 年間購読(郵送)のご案内 *



ご郵送は、基本的に申し込み翌月から12月までとなります。

例：6月申込の場合は、7月号～12月号（但し8月号休刊を除きます）
この場合の献金については、ご希望の月数×250円程度となります。

申込先：下記の霊性センターニュース事務局へ、
氏名、郵便番号・住所、電話、Fax等をご記入の上、
郵送か下記のe-mailでお申し込みください。

《郵送でのお申し込み》

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25
カルメル会上野毛修道院 「霊性センター事務局」

《e-mailでのお申込み》

tokyo@carmel-monastery.jp

献金振込先：霊性センターニュースの最終ページをご参照下さい

*何かご質問等があれば、下記にご連絡ください。

Tel: 03-3704-2171

Fax: 03-3704-1789

『霊性センターニュース』お持ち帰りの方へ

一冊 100 円程度の献金をお願い致します！

「霊性センターへの献金」のお願い

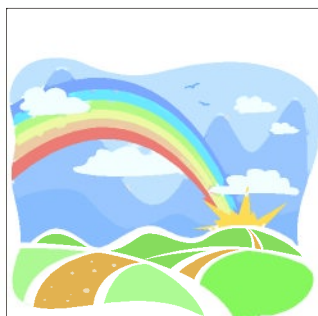
「霊性センターニュース」は、現在、上野毛霊性センターで編集、印刷、製本、発送等を行っておりますが、経費はすべてカルメル会で負担しております。読者の皆様のご理解とご協力をいただければ、幸いです。

献金される方は、下記の口座へお振り込みください。

郵便番号口座： 00110-4-297250

加入者名： カルメル霊性センターニュース

なお通信欄へは「献金」とご記入ください。



編集後記

前回、お知らせしましたように、カルメル会の「拡大総長顧問会」が韓国で開かれました。参加者数を約 120 名とお伝えいたしましたが、これは来年開かれる「総会議」の時の人数で、今回は管区長のみでしたので、会議をサポートしていた韓国の司祭、修道士を除くと 76 名だけでした。

毎朝 7 時のミサ（「朝の祈り」を含む）で始まり、午後 7 時の「夕の祈り」まで発表や討議が熱心に行われました。公用語は、イタリア語、スペイン語、英語、フランス語の四ヶ国語。質疑応答では四ヶ国語が入り乱れますので、白熱した議論の時などは、同時通訳の神父はさぞ大変だろうと思い、英語通訳の神父に「大変でしょう」と言ったところ、「結構楽しい」と返事が返ってきました。「さすが〜！」

今回の会議が、来年の総会議のよい準備となったことは、間違いありません。聖霊がカルメル会の行くべき道を指し示してくださるようお祈りください。

(P. 九里)



.....製本／発送のご協力お願い.....

「霊性センターニュース」の製本／発送は、基本的に[毎月最終週の火曜日](#)に行われます。作業はホッチキス綴じと購入者様への発送のみです。皆様のご協力をお待ちしております。初めての方、不定期参加の方も、大歓迎です。お茶とお菓子の時間もありますよ♪

「11月号」製本日 [10月28日\(火\)](#) 上野毛教会信徒会館ホール1階
午後1時半頃から～

※参加ご希望の方は、念のため、製本日をご確認下さい。霊性センター係

TEL 03・3704・2171